

## 湯けむり散歩

荒 金 陽 子

例年にならない猛暑のつづく中、盆明けの十七日の温泉と地獄の鉄輪界限は観光客で賑っていた。

覽古考新の思いで散策に参加したが、「聞いて極楽、見て地獄」などという物見遊山の気持ちでは、最後まで頑張れるだろうかと……。

その日(第三日曜日)は丁度鉄輪の散策日と重なり、他のグループとは別に、私達は二組に分かれて、地域のボランティアアガイドさんと共に歩を進めた。

思えば昨年の探歴では、北浜の西本願寺別府別院を拝舘したのですが、光瑞二十二世門主様の終戦後住んでおられた跡地に遷化なされた記念に公園を設立した。この鉄輪の地(大谷公園)に今、立った時、大谷探検隊の海外への布教に尽力なされた、道筋・調査などの偉業が伺える思いです。

大谷会館では、遺品や写真など展示されていた。脇鉄一市長が光瑞上人より贈られた両引出し付き机が残されていた。

ガイドさんの案内されるままにコースを楽しんだ。

・鬼山ホテル↓東郷青児の絵画あり。

・神和苑↓露天風呂(青の湯) 温泉の色が変わる。

みゆき坂・いでゆ坂を下り

・富士屋↓国登録有形文化財、リニューアルされ「二也百

(はなやもも)」とギャラリーとなる。

・熱の湯↓浮の湯とも言う。むかし湯ぶねに朝日がさすと

「南無阿弥陀仏」の六字の名号が浮いたという。

怒の湯、金の湯の異名もある。

・地獄蒸し釜↓江戸時代よりの噴気利用の炊飯施設。

・蒸し湯↓一遍上人により開かれたと伝えられる。上人が諸

国遊行の時、六字の名号を一字一石に書いて地獄

に投じ、埋めて温泉にしたという。石菖を敷き詰

めた石室に蒸気を流し病氣治療に役立てた。

旧蒸し湯跡地に「むし湯広場」があり、旧石室や

湯あみ一遍上人石像とともに、野口雨情の歌碑が

ある。「豊後鉄輪蒸湯のかえり はだに石菖の香

がのこる」

・渋の湯↓裏の崖に滝湯の跡あり。石垣に太陽の円と三日月

の穴あり。

・永福寺↓一遍上人の木彫坐像あり。秋の彼岸の「湯あみ祭り」で住職がお湯に入れる。  
永福寺で話を聞き楽しい半日が終わった。



永福寺前の記念写真

## 市外史跡探訪に参加して

松岡謙一郎

十一月十六日の天気は、長期予報を含め雨の予報でした。しかし、明け方には雨もやみ曇り空ではありましたが、行動には不都合のない天気となりました。

バスに揺られ、途中豊前・豊後国境の石柱や大河内伝次郎の生家跡等を見ながら、予定通りの十時半過ぎに「福岡県立求菩提資料館」に着きました。

資料館は主として豊前教育委員会による求菩提山修験道を中心とした史跡研究成果をまとめて展示しています。館長さんによる山中から発見された「銅板法華経（国宝レプリカ）」、「経筒」（国指定重要文化財）をはじめ県指定文化財の仏像、カラス天狗像、求菩提修験道などの説明を受けながら、館内を回り山岳信仰の一端をうかがい知ることができました。

山伏が檀家を増やすために研究した秘薬や山伏坊の生活ぶりを知ることのできる遺物、古文書等興味深い資料を見ることができました。